

第3回JKiCイメージングセミナー

蛍光・化学発光 ライブイメージングの 現状と展望

2018年

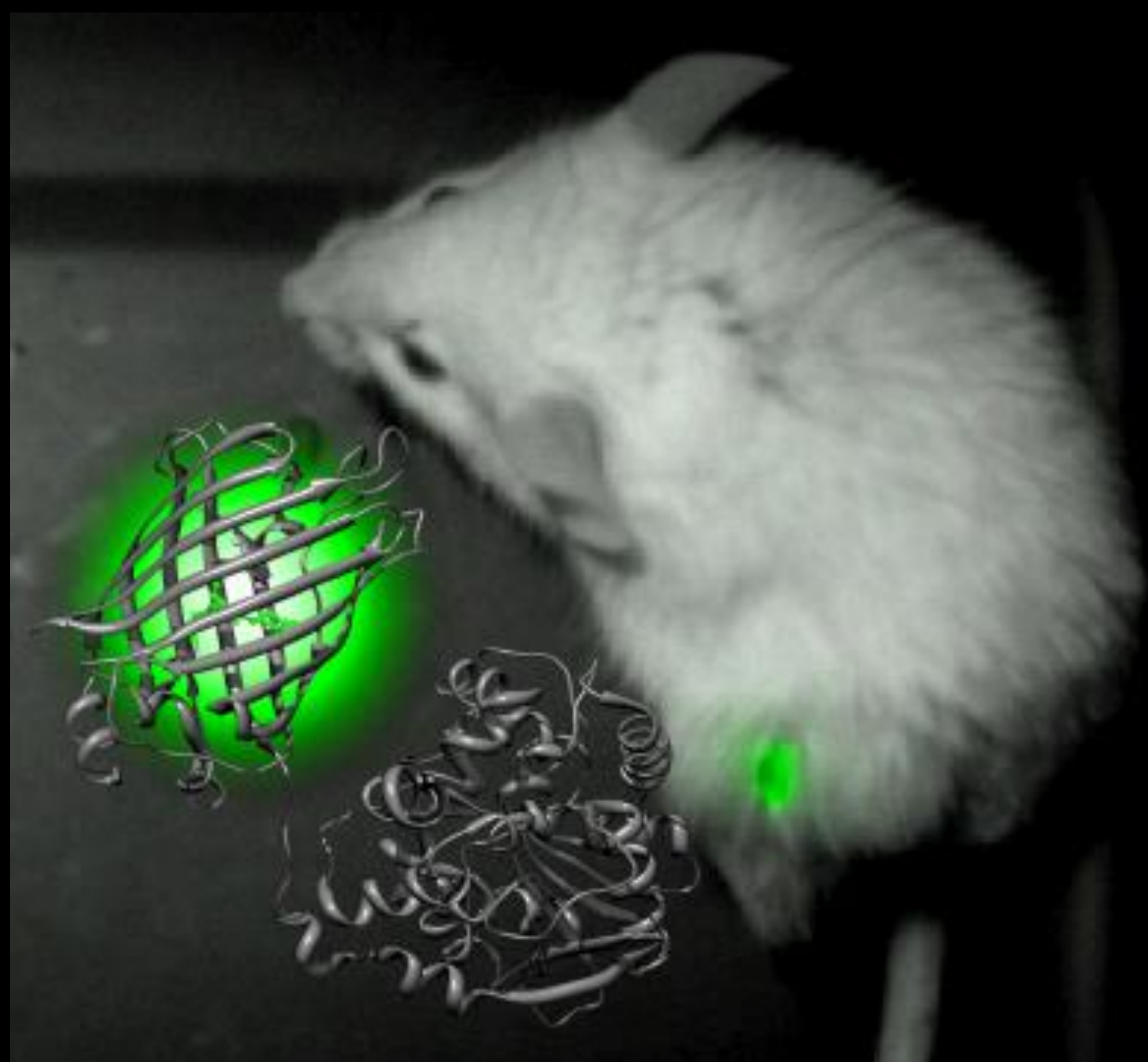
8月10日(金) 18:00~19:00

JSR・慶應義塾大学 医学化学イノベーションセンター(JKiC) 1階 会議室

講演者：永井健治 教授

大阪大学 産業科学研究所

【座長】松尾 光一 教授（細胞組織学研究室）



蛍光イメージング技術は生命科学研究に革命を起こしたことは論を待たない。しかしながら、励起光照射に伴う光毒性や自家蛍光といった問題がつきまとっていた。一方、生物発光イメージングは励起光照射を必要としないため、これらの問題を回避する事ができる優位性が以前から認識されていたものの、長時間露光が要するため普及が進んでいない。本セミナーではライブイメージングを可能にする高輝度生物発光タンパク質Nano-lantern、およびそれをベースとする Ca^{2+} 、cAMP、ATPなどの各種指示薬、さらに生物発光イメージングとオプトジェネティクスの併用などについて紹介し、合わせて蛍光、生物発光イメージングの展望について述べる。

JKiC では、皆さまのバイオイメージング技術へのアクセスの足掛かりとなるように、定期的にバイオイメージング技術に関する講習会を開催していく予定です。奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先：JKiC In vivo イメージング担当 澤田和明 k.sawada@keio.jp